

諮問事項 1

（質問１：山口委員）

○外国人への広報啓発について

①主要事業（６）の広報啓発事業についてであります。外国人は日本語について十分理解できない方が多いと考えます。市のホームページを参照だけの指導ではなく、国保加入手続きの際などに英語・中国語・韓国語等などで国保事業の内容についてのパンフレットを作成し配布したらいかがでしょうか。きっと喜ばれると思います。千葉市や船橋市等では行っているようです。

（事務局回答）

木更津市では外国語による国保事業の内容についてのパンフレットは現在作成の予定はありませんが、窓口での翻訳機、電話による通訳サービス等の利用により日本語の理解が難しい被保険者に対応しています。

（質問２：山本委員）

○特定健康診査について

新規受診率は新型コロナウイルス感染症等の影響によって事業計画（案）から年々減少しています。次年度については、新たな事業計画（案）を立案したので一定の理解をするところですが、受診率が年々減少していることは、事業計画（案）が近隣３市（君津、富津、袖ヶ浦）に比べてまだ頑張っている方なのか、どの様にすればもっと多くの被保険者が受診してもらえるのか、評価と取り組みをお示し頂ければと存じます。

（事務局回答）

特定健康診査の受診率の評価は、国等では、一般的に同規模市と比較することとなっております。

令和２年度の木更津市の特定健康診査受診率の状況は、千葉県内同規模市順位（木更津市、鎌ヶ谷市、印西市、成田市、我孫子市）は、１位。

全国同規模市順位は１０３市中２０位で、成績上位となっております。

管内４市の同規模市比較の成績は以下になります。

木更津市	県内（５市）	１位	全国（１０３市）	２０位
袖ヶ浦市	県内（１２市）	１位	全国（２４３市）	２２位
君津市	県内（１２市）	２位	全国（２４３市）	２８位
富津市	県内（８市）	１位	全国（２５５市）	２０２位

また、千葉県内全市町村における順位は、令和元年度の２３位から令和２年度

令和3年度第3回木更津市国民健康保険の運営に関する協議会
意見・質問に対する事務局回答

では7位になっていますので、「頑張っている」と評価しています。

近隣市の県内順位は、袖ヶ浦2位、君津4位、木更津7位、富津28位となっております。

特定健康診査の受診率向上に向けた取り組みとしては、未受診者への受診勧奨再通知、集団健康診査の土日実施、職場の健診結果の提出協力の呼びかけなど、他市の好事例取り組みなどを参考に実施しております。

全国的に受診率が大きく低下した市町村が多い中、木更津市は1.5ポイントの低下で踏み留まっていることは評価できていると考えています。

(質問3：山本委員)

○医療費通知について

令和2年度第3回木更津市国民健康保険事業の運営に関する協議会（書面決議）において「医療費通知のコスト等について」の意見・質問に対して事務局回答は、今のところコストカットの方法としては「年4回の通知を2回や3回に減らすことが考えられます。」と、ご回答いただきましたが令和4年度事業計画（案）は、令和3年度事業計画（案）と同様な内容「1年間分の医療費を年4回に分けて通知する。」と述べられていますが、その記載事由を教えてください。

(事務局回答)

令和2年度では、郵便による通知全廃は難しいため、方法として回数減を回答いたしました。しかしながら、回数の変更には周知期間を設けることが望ましいこと、確定申告に利用しやすい通知時期を考慮する必要があることから、令和4年度は令和3年度と同様で計画いたしました。

確定申告の添付資料として1月～12月分が必要となることを勘案した発送スケジュール変更案は以下の内容が考えられます。

医療費通知変更案（仮）			
	現行（4回）	案1（3回）	案2（2回）
発送月	記載診療月		
5	前年12～2	—	—
8	3～5	1～5	—
11	6～8	—	—
1	—	6～10	1～10
2	9～11	—	—
3	—	前年11, 12	前年11, 12

諮問事項２

（質問４：山口委員）

○保健師、管理栄養士の配置状況について

健康管理の指導者である保健師、管理栄養士について、令和４年度人件費のうち、国保会計からの保健師、管理栄養士の職員数は何人分でしょうか。また、近隣３市の国保会計による保健師、管理栄養士、歯科衛生士の配置状況はいかがでしょうか。

（事務局回答）

４市の職員数、配置状況は以下のとおりです。

君津管内４市国保会計保健専門職人件費支払人数(令和３年度)				
	君津市	富津市	袖ヶ浦市	木更津市
保健師(正)	４	５	２	１
看護師(正)	０	０	０	０
管理栄養士(正)	１	１	０	０
歯科衛生士(正)	０	０	０	０
保健師(会計年度)	０	０	１	０
看護師(会計年度)	※ １	０	０	１
管理栄養士(会計年度)	０	０	３	１
歯科衛生士(会計年度)	０	０	０	０
栄養士(会計年度)	０	１	０	０
※君津市の看護師(会計年度)の１名は				
国民健康保険特別会計(直営施設施設勘定)の人件費(松丘診療所勤務)				

（質問５：山口委員）

○ジェネリック医薬品供給不足の影響について

保険給付費についてですが、ジェネリック医薬品製造会社、数社において諸問題により薬品の出荷が滞り、多くの調剤薬局ではジェネリック薬品の在庫切れがみられ、当分この状況が続く様です。ついては令和４年度の予算としての今後の見通しはどのように考えているのでしょうか。

（事務局回答）

令和２年、令和３年の木更津市国民健康保険における後発医薬品使用の状況は、数量ベース及び金額ベースでの全体に対する割合、後発医薬品に代替可能な医薬品の中での使用率ともに漸増傾向にあり、データだけでは供給不足の状況は

読み取れませんでした。

予算としては補足説明に記載したように、７０歳代被保険者数がピークにあることによる影響として調剤費を含めて令和３年度より令和４年度は保険者負担分にあたる「療養給付費」予算を増額しました。

（質問６：山本委員）

○電話・オンラインによる診療の普及について

今、新型コロナウイルス感染症が大きな影を落としているとき、健康疾患時にただ来院してくれる被保険者を待つのではなく、ウイズコロナ時代に向け新しい生活様式にあった「電話・オンラインによる診療」にシフトしていくことが急務と考えます。よって、導入する医療機関を増やすための事業計画を俎上に載せ予算化を図り、それらを積極的に推し進めるべく取り組みをお示し頂ければと存じます。

（事務局回答）

木更津市では、令和２年度に健康こども部健康推進課所管で医科、歯科を対象に１件３０万円を上限とした「オンライン診療環境整備補助金」制度を実施し、申請２７件、整備実績報告のあった医科１０件、歯科１３件、合計２３件に総額６１０万円余りの補助金を交付しております。

国民健康保険の保険者としての別途の取組は予定しておりません。

また、国では、令和４年１月、コロナ流行期に関わらずかかりつけ医による診療を原則としてオンラインで初診ができるよう指針を改め、令和４年４月からのオンラインでの初診料を３７０円増額改訂し、普及を促す方針です。

<意見・質問への回答は以上です>